

旧三田藩家老を代々勤めた九鬼家が明治初期に建てた住宅

〔兵庫県指定重要有形文化財〕

旧九鬼家住宅

〔企画展示〕 『旧九鬼家住宅のかたちを楽しもう』

－ 和と洋が美しく調和した意匠（かたち）について写真を中心に紹介 －

令和8（2026）年 8月1日（土）～10月31日（土）



北側外観



二階洋間

ベランダ

屋根瓦

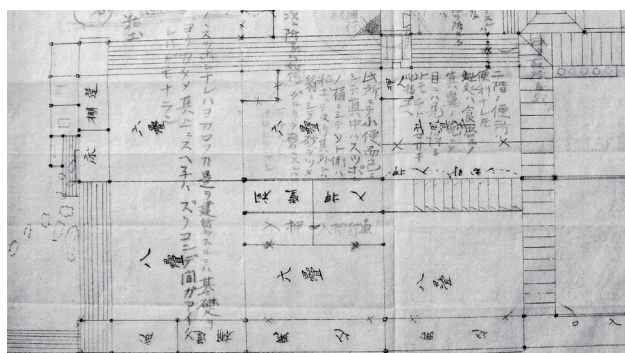


（展示会場）三田ふるさと学習館学習室

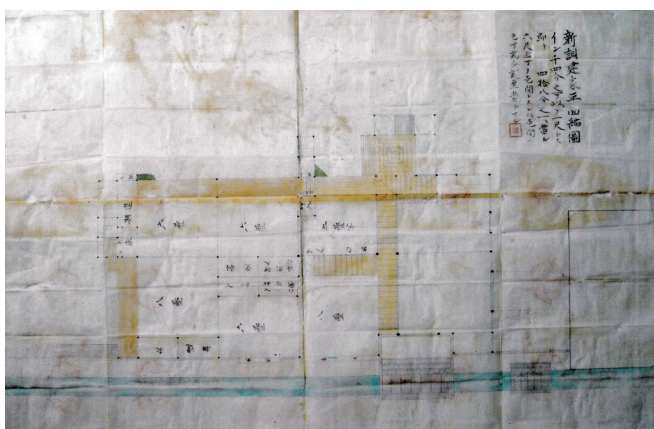
〔企画展示〕 『旧九鬼家住宅の間取りをひもとく』

－ 旧三田藩家老九鬼家文書の史料から間取りの成り立ちを読み解く －

令和8（2026）年 7月18日（土）～10月4日（日）



〈九鬼隆範が書き込んだと思われるメモが残る間取り図〉



〈彩色が施された間取り図〉

（展示会場）旧九鬼家住宅資料館

（主 催）三田市

（企 画）NPO 法人歴史文化財ネットワークさんだ

（開館日／開館時間）開館カレンダーを参照

（入館料）無料

（チラシ裏面）

く き たかのり
九鬼隆範（九鬼家 15 代当主）〈1835 – 1908〉

三田藩の鉄砲組物頭を務めた越賀家の三男として生まれる。
砲術、蘭学、測量学を学び、明治 3 年に民部省（のちに工部省）鉄道寮に出仕し、
新橋横浜間や京都神戸間などの鉄道敷設工事の測量業務等に従事する。現場で実地
を学んだ鉄道技師として明治初期の鉄道の発展を支えた。
旧三田藩家老の九鬼伊織の娘と結婚し、養子となって家督を継ぐ。



（愛称：りゅうはん）

旧九鬼家住宅（兵庫県指定重要有形文化財）

九鬼隆範が九鬼家当主として明治 8 ～ 10 年頃（推定）に旧家老屋敷地に建て替えた住宅。
洋風（洋館）と和風（商家、武家住宅、民家）の意匠を合わせもつ建物で、「擬洋風（ぎようふう）建築」
と呼ばれる。鉄道技師として横浜や神戸の外国人居留地の洋館を数多く見たであろう九鬼隆範の西洋文化や
技術へのあこがれがこの住宅を生み出したと考えられる。
旧九鬼家住宅は、明治初期に現れた擬洋風建築の貴重な住宅遺構として平成 10（1998）年に兵庫県重要
有形文化財に指定された。

『三田藩家老九鬼家文書』（三田市指定有形文化財）

九鬼家が所蔵し三田市に寄託されている古文書史料群で、史料点数は 13,000 点を超える。今回の企画
展の対象とした「旧九鬼家住宅間取り図」のほか、「明治近代鉄道路線図」なども含まれる。
当文書に関する調査報告書として、『三田藩家老文書詳細目録(第一集)』、『旧九鬼家住宅解体修理(災害復旧)
工事報告書』及び『九鬼家所蔵近代鉄道関係資料調査報告書』が三田市より刊行されている。

三田ふるさと学習館・旧九鬼家住宅資料館 ◇開館カレンダー（7 月～ 10 月）◇

■：三田ふるさと学習館と旧九鬼家住宅資料館の同時開館日 ■：三田ふるさと学習館のみの開館日

2026 年 7 月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2026 年 8 月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2026 年 9 月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2026 年 10 月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

三田ふるさと学習館（開館時間 10:00 ～ 17:00）

旧九鬼家住宅資料館（開館時間 10:00 ～ 16:00）

○：旧九鬼家住宅の
二階特別公開日



※ 最新情報を三田市 HP（ホームページ）でご確認ください。

〔問合せ先〕三田ふるさと学習館

（住所）〒669-1532 兵庫県三田市屋敷町 7 番 33 号

（電話）079-563-5587

※ JR 三田駅・神戸電鉄三田駅 から徒歩約 10 分

※ 駐車台数：11 台＋身障者用 2 台（無料）